

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	観光まつり振興事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部	課等名	観光課		包含する細々目	1	7	1	4	10	9	10,925
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	13 地域内産業の多様な連携											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	地域経済活性化プログラム						
		事業期間	16	年度～	年度	関連計画条列等						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	観光客 飯田春夏まつり参画事業「飯田春夏まつり協議会」 飯田まつり運営事業「りんご並木の街飯田まつり協議会」	観光まつりの参加者及び観客:数(万人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了した年度とする	
			20		20	
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	観光目的のまつりに訪れてもらう	観光まつりに訪れた観光客:数(万人)	18目標	6	最終目標	
			18実績	6	19目標	↑
			23目標	7	23実績	最終目標達成年度
			18目標		最終目標	
		18実績		19目標	↑	
		23目標		23実績	最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	飯田市内の商工団体や地域の振興のために企画されている観光的まつりを支援し、直接的誘客を進める。 また、市民一体となって参加できるまつりを支援することで、市民自らが飯田のまつりの魅力を外に発信してもらうきっかけとする。	18年度の実績 飯田まつりの支援 天竜峡飯田春の観光まつりの支援 大宮桜まつりの支援 飯田時又灯ろう流し支援	観光まつりを企画運営した人数	100
	19年度計画 飯田まつりの支援 天竜峡飯田春の観光まつりの支援 大宮桜まつりの支援 飯田時又灯ろう流し支援	観光まつりを企画運営した人数	100	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	国庫支出金		
	特定財源		
	起債		
	その他		
	一般財源	10,925	10,925
	事業費計(A)	10,925	10,925
人件費	正規職員所要時間	18年度 500	19年度 500
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	1,788	1,788
	トータルコストA+B	12,713	12,713

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり。	観光消費額(億円)	現状値	145	19実績	150
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	184
	経済自立度(%)		現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ 観光振興を目的としたまつり事業の支援及び振興は、直接的な誘客活動の他に、地域の連帯感を創出する効果がある。ことに、地域間の交流や市民全体の連帯意識の向上を図るために必要とされる。	事業を取り巻く状況の変化 観光的まつり振興については、世代間により考え方に大きな差が生じてきている。市民サイドの運営により付加価値の高い事業に育てるテクニックが必要とされる。	事業に対する市民や議会の意見 地域に密着している地区行事や伝統的まつりが注目されている中、イベント行事としてのまつりについては地域内の商工業の連携のもと、十分な経済効果やステイタス性が求められる時代となっている。
--	--	---

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 既存の観光まつりを強化育成することにより観光振興につながる。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 観光に関する地域内の組織や個人を育成することにより、効率的に事業を推進することができる。資源の有効活用につながる。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 観光地としての魅力度が下がる。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 観光的まつりを、支援しながら誘客のきっかけを作ることは、市の業務である。また、市民が楽しみながら一堂に集まることのできるイベントを支援し、広く情報の発信を行うことは市の業務である。		効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由) 担当者1名であり不可能である。
	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 市民及び観光客		

### 【Plan】改革改善

<b>今後の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 平成19年度を目標に観光まつり全体が、市民サイドで運営できる組織作りを進める。組織型のまつりから自主参加型への切替で、誘客の増加を狙う。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	飯田まつりへの民間活力の導入。

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	